ループ利尿剤

１．ラシックス（フロセミド）

①利尿作用はサイアザイドの３倍あるが、降圧効果は弱く、作用持続時間も短く６時間で効果が切れる。
静脈内投与の場合は、利尿効果は５分以内に発現し２～３時間持続する。

②GFRが２０ml/分以下の腎機能低下例でも使える。
また、ラシックスには腎血流量を改善する作用がある。

③ラシックスの場合、消化管浮腫により経口剤の吸収が落ちる。
このため重症例では静注薬を用いる必要がある。

④ラシックスを経口で投与した場合、その吸収率は約50%なので
静注２０ｍｇと同様の作用を期待するなら経口４０ｍｇが必要になる。

⑤ループ利尿剤は持続的に使用していくと、通常数週間で効果が減弱する。

⑥いずれのループ利尿剤も、血中ではそのほとんどがアルブミンと結合しているため、低アルブミン血症が重症（Alb＜２mg/dl）であると効果が減弱する。

⑦低K血症、低ナトリウム血症、高UA血症を来たす事が多い。
低K血症による致死的不整脈に注意。

⑧急速利尿による循環血液量の減少、血液の濃縮による血栓塞栓症や虚血性心疾患の増悪に注意。